

学生への報告

2011年度授業アンケートの結果について

白梅学園大学・白梅学園短期大学
FD委員会

皆さんのこの1年の学習や研究はいかがでしたか。良い学びができたでしょうか。学習環境の改善や教員がわかりやすい授業方法や授業技術をさらに身に付けていくためにFD委員会が、この授業アンケートを担当しています。これまでのアンケート結果を活かして、教員の研修会や勉強会を行っていますが、今後も皆さんの学びを支援するためにさらに努力をしたいと考えています。皆さんのアンケートの結果について報告します。

1. アンケート調査の目的

白梅学園では2002年度より学生の皆さんたちに授業アンケートを実施し、それらの内容から授業の改善を目指してきました。さらに、客観的な評価を行うために、次のように取り組みを続けてきました。

- (1)ゼミナール等を除いて全ての授業でアンケート実施する
- (2)アンケートの回収を授業担当の教員ではなく事務の方々にお願いする
- (3)記述の部分を電子データ化と評価の数値の平均とを合わせて授業担当者に渡し、残された期間の授業の対応と学生の回答へのコメントを求める
- (4)アンケート結果と授業担当者のコメントをまとめ、FD委員会として皆さん方にアンケート結果を報告する
- (5)以上の取り組みの結果をもとに、次年度の授業をより良いものとするための各種の研修を行う

2. アンケートの経過と結果

前期は7月初旬にアンケートを実施し、授業担当者に7月中に結果を戻してコメントを求めました。後期は12月初旬にアンケートを実施し、1月下旬には授業担当者にアンケートの結果を配布してコメントを書いてもらいました。そして残された期間での授業の改善をお願いしました。

また授業アンケートの活用について、教員から「アンケート結果についてのコメント」をいただき、FD委員会として教員の研修や学習会を企画してきています。今年度の結果については、来年度の研修で取り上げることを検討しています。

以下に、学生の皆さんへのアンケート結果全体と、授業担当者からのコメントを参考に、授業アンケートについて報告をします。

(1)2011年度授業アンケートの分析

アンケートの回収率は、昨年度より少し上がって、前期が80.1%（昨年度78%）で8割を越えましたが後期は72.2%（昨年度68%）となっています。このように、前期に比較して後期の回収率が減少することの意味を簡単に説明することは難しいのですが、「授業評価アンケートを出してもすぐには変わらないので意味が無い」と受け止められているとも考えられ、アンケート結果や改善について早くに報告することが求められているとも考えています。FD委員会としては、アンケート結果を適切に反映する取り組みを検討してきています。まずは、先生方に結果を早くお知らせして、コメントを求めています。アンケートの自由記述欄の具体的な意見は、とても参考になり先生方の多くが工夫や改善に役立っているとの報告を得ています。直ちに学生の皆さんに見える改善ができることを私たちも目指していますが、少しずつですが改善を進めているところです、今後とも多くの学生にアンケートへの協力をお願いしたいと思います。

評価は5段階で行っており、各質問項目について「そう思わない」1点、「ややそう思わない」2点、「どちらともいえない」3点、「ややそう思う」4点、「そう思う」5点で集計しています。平均が

4を超えていれば、全体として「学生に良いと評価されている状態にある」と判断できると考え、この点数を超えることをひとつの目標としています。

評価を見てみますと、まず昨年度と比較すると、全体平均は前期で4.11から4.24へと上がり、後期では4.19から4.17と下降しています。各科・学年を見ると昨年は4を下回ったのは、前期では大学共通、短大教養、福援2年、後期では大学共通、子ども学科1年、福援2年でしたが、今年度は、4を下回ったのは後期の発達臨床1年のみでした。このことから、昨年からの授業改善が進んでいると考えることもできます。

今年度の全体を見てみますと、前期・後期とも「9.分からないことは質問したり調べたりしましたか」の項が低く、これは、昨年度よりは向上しているものの4以下となっています。「11.この授業について総合的に満足していますか」では、前期・後期共に昨年より上昇しています。各質問項目では、前期はすべてにおいて昨年を上回り、後期は6質問でわずかに下がっています。

学科学年ごとの平均を見てみますと、大学子ども学科の1年生は4.13から4.37、2年生は4.12から4.40、3年生は4.38から4.27、4年生は4.17から4.53、発達臨床学科1年生は4.16から4.17、2年生は4.10から4.06、家族地域支援学科1年生は4.23から4.00、保育科1年は4.24から4.34、2年生は4.33から4.35と変化しています。また、前期と後期を比較してみますと、後期に向上したのは、大学共通、子ども学科1年、2年、3年、4年、発達臨床2年、家族地域1年、短大共通、保育科2年となり、減少したのは発達臨床1年、3年、家族地域2年、保育科1年となっています。

評価点を各項目別に眺めると、一昨年度から同じ結果で「3. 教員は、授業内容に熱意を持っていたか」への評価が最も高く、次いで「1. 毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていたか」及び「5. 授業での教員の声の大きさや言葉づかいは適切でしたか」の3つの質問項目への回答です。一方、相対的に評価が低いのは、「2. 今までの授業全体の内容を理解できましたか」「7. 成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか」といった質問項目でした。

一方、「分からないことは、質問したり調べたりしましたか」および「今までの授業全体の内容を理解できましたか」といった自己評価に関わる質問にも昨年度よりは向上しているものの低い評価がなされています。授業が多く、調べる時間が無いのか、あるいは、調べる内容が分かりにくいのか、質問しにくいのか、教育方法向上の一貫として、教える側が検討すべきでしょう。

今回のアンケート結果からも、教員が授業の目的を明確にしながら熱意を持って授業に取り組んでいると評価されている一方、授業運営に関してさまざまな問題を抱えていることが分かりました。また学生自身の自己評価項目への回答も前回より上昇したものの未だ低いことも分かりました。わかりやすい授業について、今後も研究し改善を図りたいと思います。

また、自由記述には、教員の授業運営上、授業技術上の問題点が具体的に指摘されています。各教員からも、上記の質問項目の評価や自由記述に対して出された意見を参考に授業を向上したいとするコメントが寄せられています。

評価とこれら自由記述の指摘を参考に、教員には次のように要請しています。

- ・ 学生の理解度を配慮した授業。
- ・ 大事なところを特に大きな文字などによりわかりやすい板書。
- ・ パワーポイント等、情報機器使用技術の向上。
- ・ 適切な表現、話術などについての努力。
- ・ 遅刻や私語に対して、授業妨害であることを明確に伝える。
- ・ 評価の明確化。

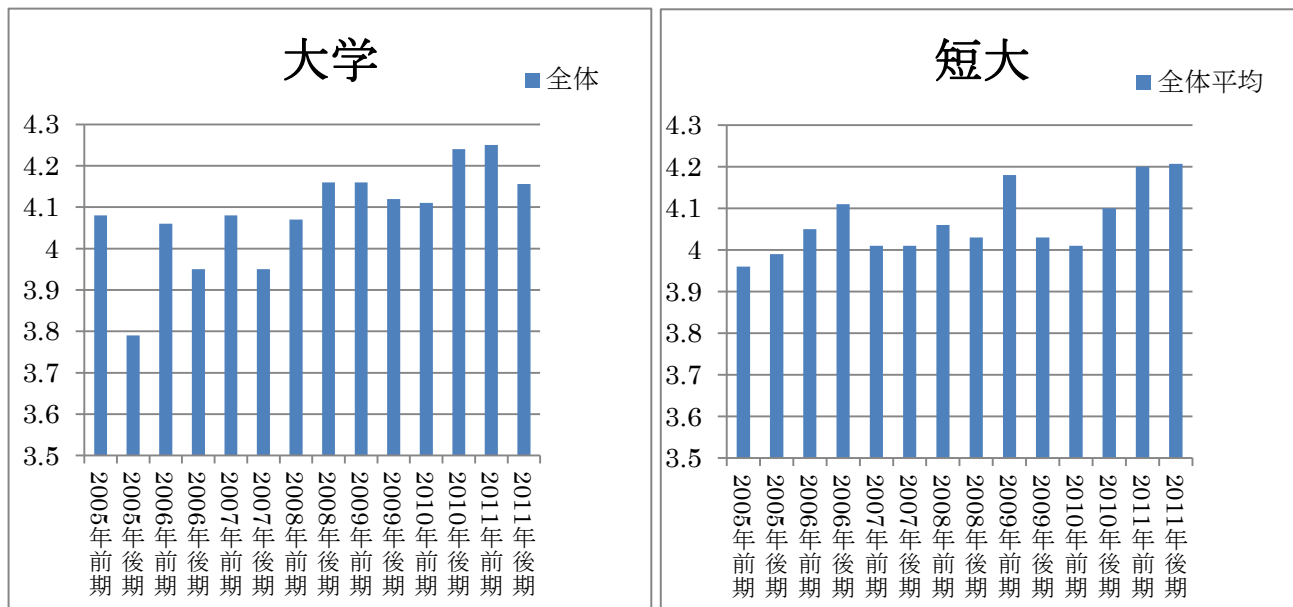
今後FD委員会として、FDを推進するため上記の研修を計画しています。

なお、今年度は、授業中に私語が多いなどの苦情が寄せられ、学生の学びを妨害すること、授業を妨害することとなり、権利侵害であることを説明して、授業を受ける皆さんの姿勢についても考えてほしいと呼びかけました。授業妨害にあたる行為についてどのように対応するのも重要な課題となっています。

(2) 2005年度以降の評価の結果について

2005年度以降の授業評価について、大学と短期大学に分けてそれぞれの平均の数値による結果の推

移をグラフにしました。このグラフから言えることとしては、大学・短大共に 2011 年度の結果が数字上で最も高いものとなっています。2010 年度に、教員対象の授業向上のための研修会を数回実施したことがこの数字に表れているとも考えられます。また、事業評価を継続してきた結果として「教員の授業改善への意識と努力が行われてきた結果」と言うこともできます。もちろんまだ多くの改善の課題を抱えています。授業評価アンケートがもつ意味を確かめることができたと考えています。



2. 今後の進め方について

アンケートから得られた数値や意見は、授業アンケートへ取り組みを分析する貴重な資料です。

大学での学修は、ゼミナール、図書館や自宅での自習、友人との討論なども大切ですが、アンケートの対象となっている教室での授業は最も重要な学習です。学生の皆さんと授業担当者である教員、そしてそれを支える事務職員のそれぞれの努力があって初めて有効に機能します。したがって今後も授業アンケートを参考にしながら改善をすすめていきたいと思えます。

在学生の皆さんへの次回の授業アンケートは、2012年7月と11月に実施を予定しています。また、アンケート内容の検討も行います。アンケート項目などで意見などありましたらFD委員会までお寄せ下さい。

資料 2011年度授業アンケートの集計結果

アンケートの質問項目

1. 毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていましたか
2. 今までの授業全体の内容を理解できましたか
3. 教員は、授業内容に熱意を持っていましたか
4. 教員が、学生の理解度に配慮していましたか
5. 授業での教員の声の大きさや言葉づかいは適切でしたか
6. 板書や教材などは見やすかったですか
7. 成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか
8. あなたは、この授業に熱心に参加しましたか
9. 分からないことは、質問したり調べたりしましたか
10. この授業を受講して、その分野についての新しい知識や技能が得られましたか
11. この授業について、総合的に満足していますか

2011 前期	履修	回答	回答率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
大学共通	2086	1683	80.7%	4.36	4.15	4.48	4.11	4.36	4.09	4.11	4.22	3.94	4.28	4.22	4.21
子ども1年	1202	1062	88.4%	4.57	4.30	4.62	4.31	4.53	4.36	4.25	4.37	3.93	4.45	4.37	4.37
子ども2年	941	617	65.6%	4.55	4.39	4.65	4.34	4.60	4.29	4.24	4.43	3.95	4.54	4.49	4.40
子ども3年	1443	1034	71.7%	4.40	4.14	4.59	4.25	4.43	4.16	4.04	4.29	3.91	4.42	4.29	4.27
子ども4年	248	189	76.2%	4.64	4.51	4.71	4.59	4.68	4.46	4.29	4.48	4.22	4.66	4.61	4.53
発達臨床1年	371	324	87.3%	4.31	4.09	4.52	4.14	4.45	4.14	3.95	4.09	3.63	4.33	4.18	4.17
発達臨床2年	616	476	77.3%	4.28	3.78	4.40	3.88	4.34	4.00	3.94	4.07	3.79	4.14	4.01	4.06
発達臨床3年	283	186	65.7%	4.38	4.13	4.52	4.17	4.40	3.76	3.90	4.18	3.95	4.37	4.29	4.19
家族・地域1年	445	332	74.6%	4.25	3.84	4.27	4.04	4.28	3.96	3.89	3.90	3.46	4.08	4.09	4.00
家族・地域2年	151	139	92.1%	4.47	4.31	4.38	4.39	4.49	4.22	4.36	4.23	3.92	4.41	4.33	4.32
短大共通	1001	891	89.0%	4.19	3.94	4.28	3.95	4.19	3.94	3.87	4.17	3.85	4.03	3.95	4.03
保育1年	1112	1006	90.5%	4.50	4.33	4.56	4.30	4.49	4.30	4.12	4.42	3.96	4.46	4.34	4.34
保育2年	1782	1421	79.7%	4.44	4.15	4.46	4.21	4.39	4.20	4.12	4.22	3.88	4.30	4.24	4.24
全体(80.1%)	11681	9360	80.1%	4.41	4.16	4.49	4.21	4.43	4.15	4.08	4.24	3.88	4.34	4.26	4.24

2011 後期	履修	回答	回答率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
大学共通	1830	1322	72.2%	4.36	4.09	4.43	4.13	4.30	3.99	4.04	4.10	3.86	4.22	4.17	4.21
子ども1年	733	641	87.4%	4.27	3.99	4.35	3.88	4.21	3.99	3.89	4.08	3.72	4.18	4.05	4.37
子ども2年	596	381	63.9%	4.51	4.13	4.56	4.27	4.45	4.23	4.02	4.24	3.89	4.44	4.34	4.40
子ども3年	827	517	62.5%	4.42	4.17	4.58	4.23	4.40	4.24	3.97	4.30	3.92	4.40	4.26	4.27
子ども4年	83	62	74.7%	4.50	4.26	4.66	4.35	4.48	4.36	4.10	4.37	4.06	4.50	4.38	4.58
発達臨床1年	428	316	73.8%	4.05	3.70	4.14	3.63	3.95	3.76	3.69	3.84	3.40	3.84	3.75	3.79
発達臨床2年	360	241	66.9%	4.38	4.10	4.47	4.11	4.47	4.03	3.93	4.21	3.79	4.30	4.22	4.18
発達臨床3年	359	192	53.5%	4.25	4.05	4.40	4.14	4.30	4.12	3.80	4.14	3.87	4.30	4.09	4.13
家族・地域1年	300	183	61.0%	4.38	3.89	4.29	4.06	4.33	3.78	3.84	3.91	3.47	4.14	4.08	4.01
家族・地域2年	301	225	74.8%	4.28	3.96	4.22	4.06	4.25	3.94	4.02	4.02	3.68	4.16	4.11	4.06
短大共通	299	277	92.6%	4.32	4.00	4.40	4.15	4.19	4.12	4.01	4.04	3.79	3.99	4.06	4.10
保育1年	1486	1362	91.7%	4.27	4.03	4.41	4.08	4.24	3.99	4.01	4.12	3.68	4.16	4.10	4.10
保育2年	1522	869	57.1%	4.51	4.34	4.55	4.35	4.48	4.22	4.22	4.35	4.08	4.41	4.32	4.35
全体(72.2%)	9124	6588	72.2%	4.35	4.09	4.43	4.14	4.33	4.09	4.03	4.18	3.85	4.29	4.21	4.17